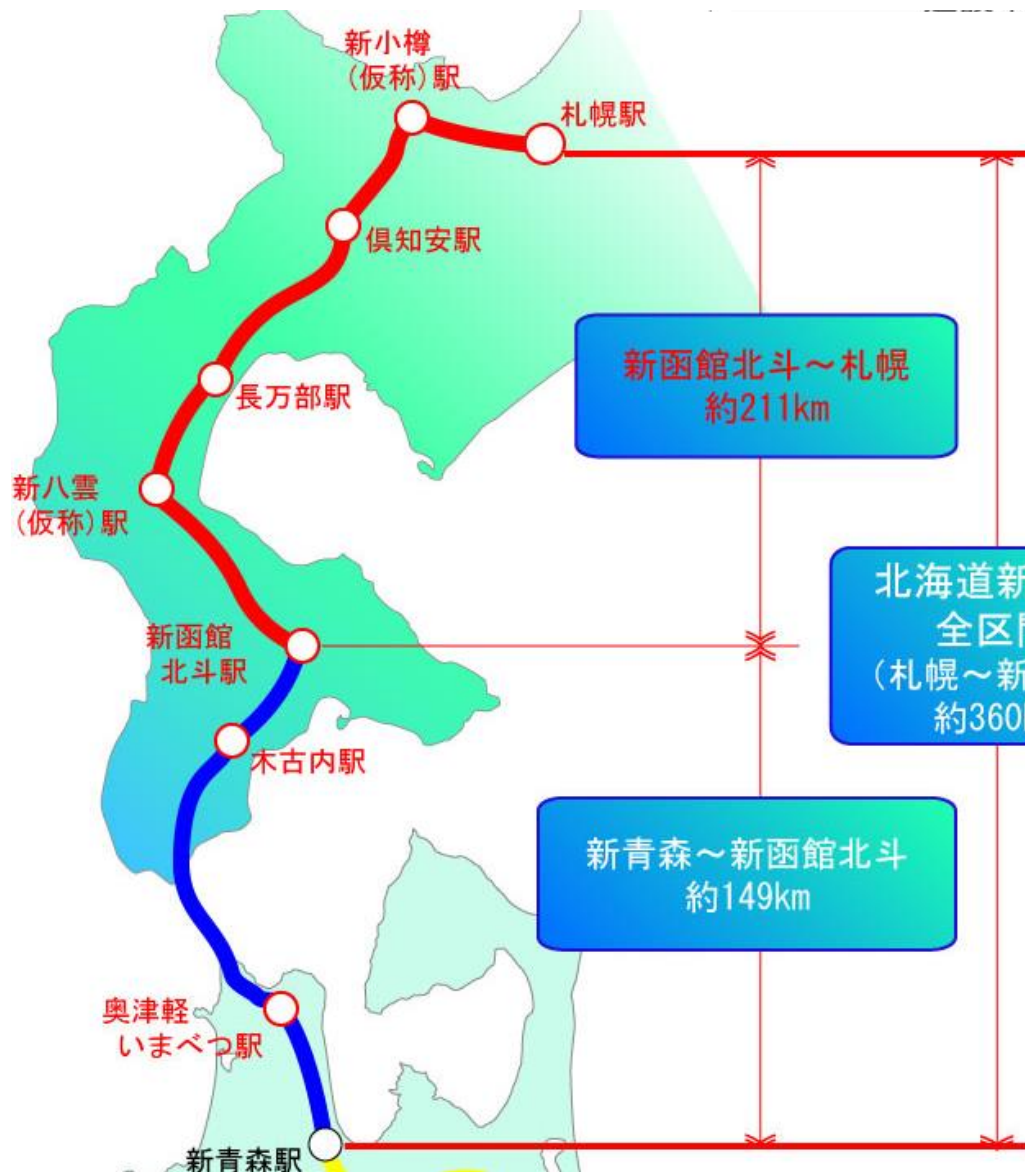


ルートと開業予定



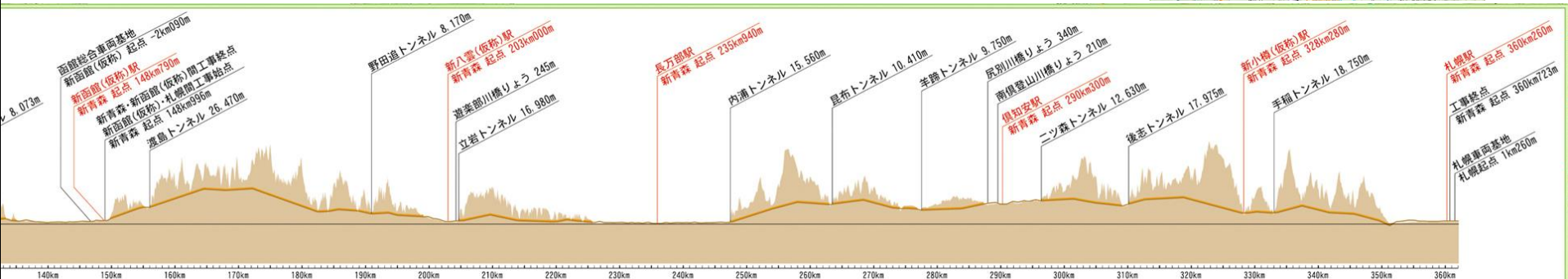
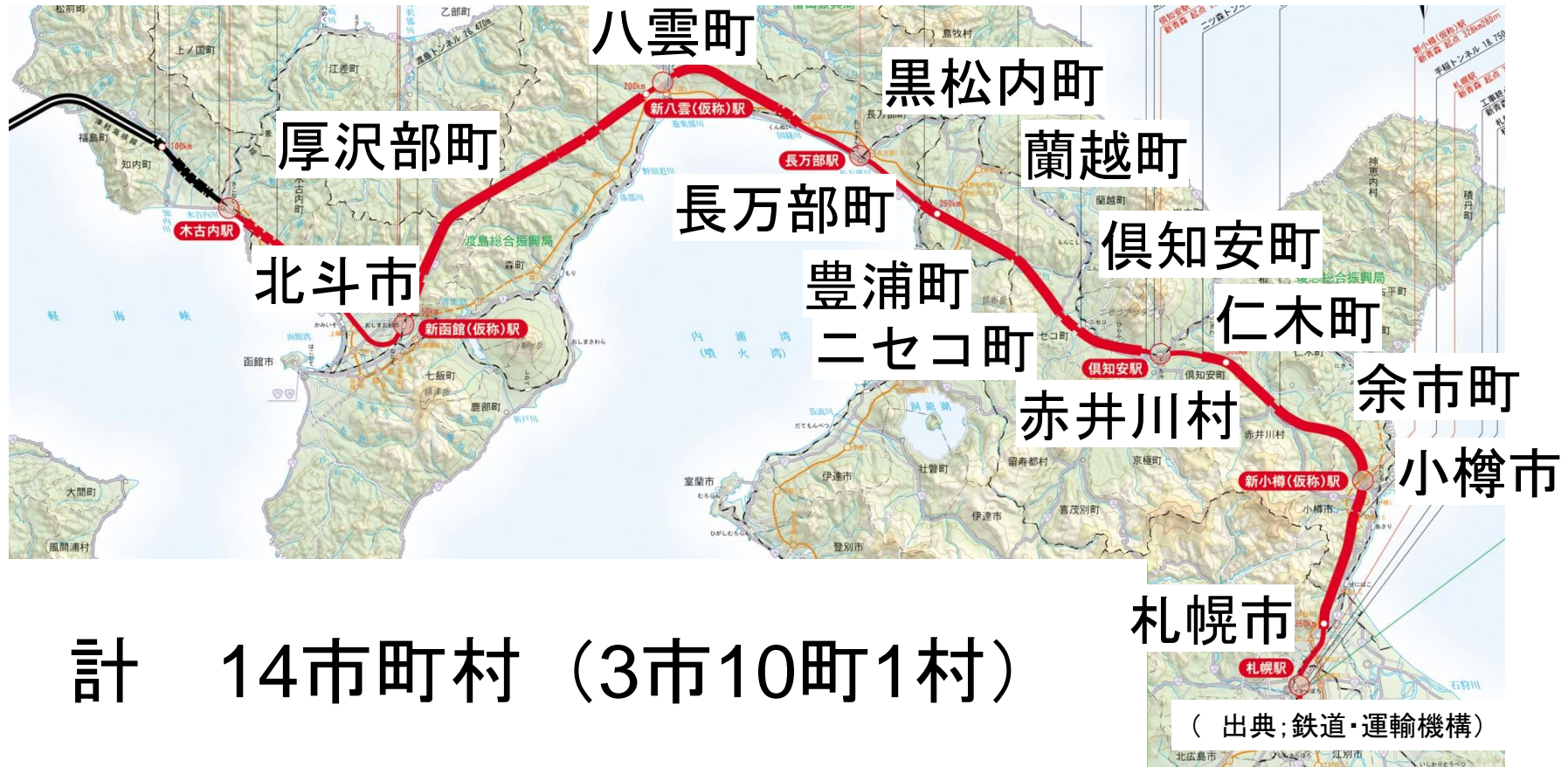
**平成42年度末
開業予定**

北海道新幹線
全区間
(札幌～新青森)
約360km

新青森～新函館北斗
約149km

**平成27年度末
開業予定**

新函館北斗・札幌間の概要



構造物別延長（新函館北斗・札幌間）

切土・盛土 約 15.3km（約 7%）

橋りょう 約 5.6km（約 3%）

高架橋 約 30.6km（約14%）

トンネル 約160.2km（約76%）

計 211.7km

トンネル



東北新幹線（八戸・新青森間）のトンネル

（提供：鉄道・運輸機構）

高架橋

幅 約12m



東北新幹線（八戸・新青森間）の高架橋

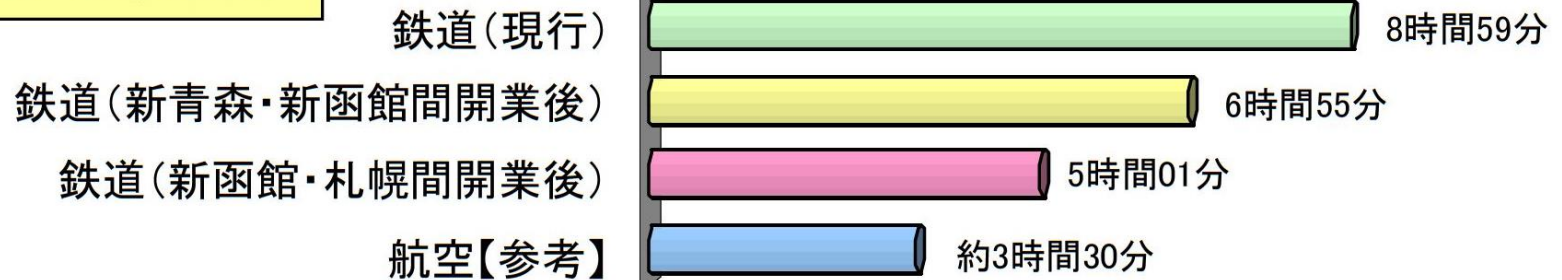
（提供：鉄道・運輸機構）

整備効果

①時間短縮効果

移動時間が大幅に短縮され、地域間の交流が促進されることで**地域経済・地域社会の活性化に大きな効果**が見込まれる。

東京駅・札幌駅間



函館駅・札幌駅間



※新函館開業時、札幌開業時の青函共用走行区間の最高速度は140km/hとしている。
※新函館開業時及び札幌開業時にはJR東日本が2012年度末に予定している
東北新幹線(宇都宮駅・盛岡駅間)の速度向上を考慮している。

※所要時間(最速達)については鉄道局の想定値であり、実際に営業主体(JR旅客会社)が
決定するものと異なる場合がある。
※航空の所要時間は主要駅から空港への移動、空港から主要駅への移動を含む。

整備効果

①時間短縮効果

盛岡駅・札幌駅間

鉄道(現行)

6時間35分

鉄道(新青森・新函館間開業後)

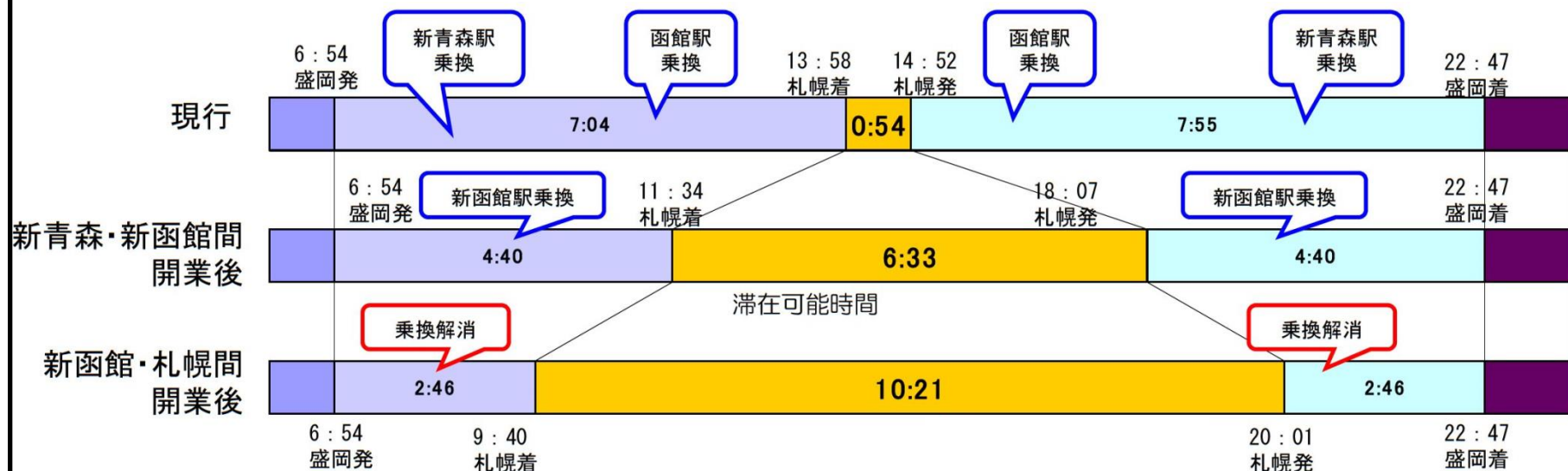
4時間40分

鉄道(新函館・札幌間開業後)

2時間45分

航空【参考】

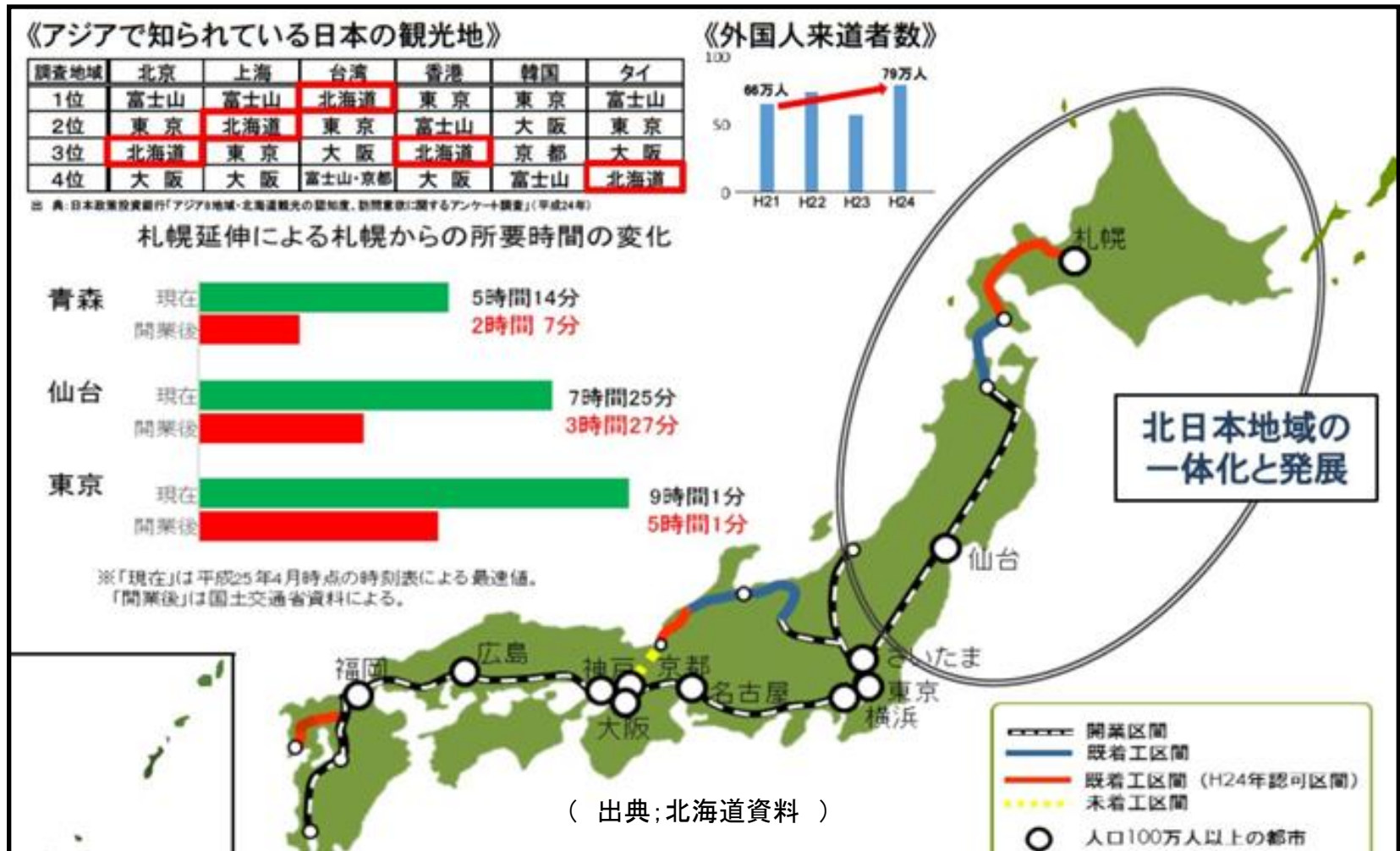
約2時間30分



整備効果

②交流圏の拡大

北海道新幹線により**北日本地域が一体となった交流圏が形成**されることで、「**経済活性化**」や「**観光立国**」に大きく貢献



整備効果

③経済波及効果

北海道の試算結果(平成42年度開業予定)
開業後5年間の経済波及効果の累計額

